

30年目の希望—19950117からのわたしたち (仮題)

The 30th Year of Hope: Our Lives Since January 17, 1995 (tentative)

会期：2024年12月21日（土）～ 2025年3月9日（日）



米田知子《震源地、淡路島》
1995年 ゼラチンシルバークラウドプリント 国立国際美術館蔵
©Tomoko Yoneda/Courtesy of ShugoArts

阪神・淡路大震災から30年の節目に際し、現代作家によるグループ展を開催します。

1995年1月17日の震災では、兵庫県立美術館の前身である兵庫県立近代美術館（1970-2001）も建物や収蔵品に被害を受けました。同館を引き継ぎ、2002年に震災復興の文化的シンボルとして開館した当館では、これまでも震災後の節目の年に関連展示を開催してきましたが、今回初めて特別展会場での自主企画展となります。兵庫県ゆかりの作家をはじめ、多世代の幅広いメンバーがここに集います。

1995年から約30年の間に、アメリカ同時多発テロ（2001年）、東日本大震災（2011年）、ロシア軍によるウクライナ侵攻（2022年）、そしてイスラエルとハマスの武力衝突（2023年）、能登半島地震（2024年）と、世界は多くの自然災害や紛争に見舞われ、明るい未来を想像することはますます困難な状況となっていますが、そのような時代になお有り得る、或いは、だからこそ求められる希望とは——。世界を舞台に活躍する現代美術家たちの創作活動を通じて、発災から30年目の希望、そして来る30年後の希望へとつながる展覧会を実施します。

みどころ

- ✓ 当館では、阪神・淡路大震災に直接に関わる表現を集めた「震災から5年 震災と美術—1.17 から生まれたもの」（2000年）以降、被災地に立地する美術館として、節目ごとに震災関連の企画に取り組んできました。このたび、発災から30年という時間の経過を踏まえ、災間を生きるわたしたちにとっての希望という、より大きな視点による企画を実施します。兵庫県立美術館のみの開催です（巡回しません）。
- ✓ 米田知子（1965年生、明石市出身）、^{たばいも}東芋（1975年生、神戸市出身）ら兵庫県ゆかりの作家をはじめ、国内外で活躍中の幅広い作家が出品予定。人間の記憶や社会、自然や生命といった根源的なテーマに関わる代表作や新作を展示します。阪神・淡路大震災をひとつの出発点としつつ、被災経験の有無や世代をこえて、多くの人が、今そして未来を生きてゆくうえで欠かせない希望を分かちあう場を目指します。
- ✓ 震災30年の節目にあたり、常設展示室でのコレクション展をはじめ、注目作家紹介プログラム「チャンネル15」、Ando Gallery など、同時期に館内各所で関連企画を開催し、全館一体となった取り組みを行います。

出品作家・内容（予定）

世界を舞台に活躍する現代作家による、新作と旧作により構成します。
 最終的に6~7名の作家を予定しておりますが、今回はまず出品が決まった2名を発表します。
 残る作家については、6月末を目標に発表を予定しています。

<出品作家（予定）>

米田知子（1965年生、明石市出身、ロンドン在住）、^{たばいも}東芋（1975年生、神戸市出身） ほか



東芋 《dolefullhouse》
 2007年 映像インスタレーション（6分20秒ループ） 兵庫県立美術館蔵 ©Tabaimo/Courtesy of Gallery Koyanagi

<出品作家のプロフィール、当館とのゆかり：展覧会出品歴、所蔵作品等>

■米田知子

1965年生、明石市出身

当館では、代表作「見えるものと見えないもののあいだ」シリーズより10点を2010年度に購入・収蔵。
 「阪神・淡路大震災から20年」展（当館常設展示室、2014-2015年）で芦屋市の風景を撮影した2005年のシリーズ全点を展示。

■^{たばいも}東芋

1975年生、神戸市出身

当館では、第52回ヴェネツィア・ビエンナーレで発表された《dolefullhouse》を2009年度に購入・収蔵。
 2010年度コレクション展IIにて、同作を展示。

<参考：過去に開催した、兵庫県立近代美術館・兵庫県立美術館における震災関連企画>

■震災から5年 震災と美術—1.17から生まれたもの

会期：2000年1月15日～3月20日 会場：兵庫県立近代美術館 特別展示室
 絵画、彫刻、写真、マンガや絵本等、阪神・淡路大震災に直接関わりのある美術表現を集め紹介

■震災復興10周年記念国際公募展 兵庫国際絵画コンペティション

会期：2005年1月17日～2月20日 会場：兵庫県立美術館 企画展示室
 「再生 Renaissance」をテーマに作品を公募、81カ国・地域の2,979名・7,992点より入選した103点を展示

■「震災から10年」記念事業

会期：2005年1月10日～3月13日 会場：兵庫県立美術館 館内各所
 アトリエ1での小企画展やコンサート、保存修復活動の紹介やガイドツアー等、のべ13事業を開催

■阪神・淡路大震災から20年

会期：2014年11月22日～2015年3月8日 会場：兵庫県立美術館 常設展示室
 コレクションを軸に借用作品も交え、3部構成で、震災と美術、震災と美術館を多角的に考える機会とした。水損資料保全ワークショップや、近隣9施設によるリレートークも開催

開催情報（予定）

展覧会名	30年目の希望—19950117からのわたしたち（仮題）
会期	2024年12月21日（土）～2025年3月9日（日）
開館時間	午前10時～午後6時（入場は閉館の30分前まで）
休館日	月曜日〔ただし1月13日（月・祝）と2月24日（月・振休）は開館、1月14日（火）と2月25日（火）は休館〕、年末年始
会場	兵庫県立美術館 企画展示室
主催	兵庫県立美術館、神戸新聞社
協賛	公益財団法人伊藤文化財団

交通案内

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
 - ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
 - ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。
 ※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



同時開催の展覧会

- ・コレクション展Ⅲ
あれから30年—県美コレクションの半世紀
 2025年1月7日（火）～4月6日（日）

Ando Gallery 入場無料（当館2階）



近日開催のイベント

- ・スーラージュと森田子龍展 記念講演会
 3月16日（土）14:00～15:30 ミュージアムホール
 定員150名（先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先席有り）
 プノワ・ドゥクロン氏（スーラージュ美術館※ 館長）
 ※フランス アヴェロン県ロデーズ所在の美術館
- ・HART TALK 館長といっしょ！ Vol.6
 4月20日（土）（先着順、参加無料）
 高見澤清隆氏（イベント・キュレーター、神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond総合ディレクター）
 原久子氏（アートプロデューサー、大阪電気通信大学教授、高松市美術館アートアドバイザー）
 テーマ：海側の県美、山側の「神戸六甲ミーツ・アート」
 —2024～25年のこの地のアートシーンを考える
 ※詳細は、当館Webサイトにてお知らせします
- ・美術館の日 4月28日（日）
 当館の開館（2002年4月）を記念し、「ゆっくり解説会」や「ボランティアによる解説会」などを開催します。
 ※詳細は、当館Webサイトでお知らせします
- ・ゆっくり解説会 in Spring
 4月28日（日）13:30～14:25 レクチャールーム 定員60名（先着順）
 展覧会の見どころを手話通訳および要約筆記付きで解説します
- ・スーラージュと森田子龍展 座談会
 5月3日（金・祝）14:00～15:00 レクチャールーム
 定員60名（先着順、要観覧券、友の会優先席有り）
 稲田宗哉氏（書家）

「30年目の希望—19950117からのわたしたち(仮題)」 広報画像申込書

ご希望画像にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。
 申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。



米田知子 《震源地、淡路島》
 1995年 国立国際美術館蔵
 ©Tomoko Yoneda/Courtesy of ShugoArts



束芋 《dolefullhouse》
 2007年 兵庫県立美術館蔵
 ©Tabaimo/Courtesy of Gallery Koyanagi

● 貴媒体の情報を記入ください。

- 媒体名 (番組・雑誌名等) _____
 ○ 媒体種 : 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他 (_____) _____
 ○ 掲載・放送予定日 : _____ ○ 参考 URL _____
 WEB 掲載の場合、いずれかに○をつけてください。 : コピーガード対応 可 ・ 不可

● 申請者の情報を記入ください。

- 貴社名 : _____ ○ ご担当者名 _____
 ○ 所在地 : 〒 _____
 ○ メールアドレス : _____ ○ 電話番号 _____

● 読者・視聴者プレゼント用招待券 : _____ 組 _____ 名分を希望

※ (最大 5 組 10 名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです)

【 画像使用に際しての注意事項 】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。
 ○ 作品画像の加工 (着色、トリミング、文字載せなど) はできません。
 ○ 基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
 ○ 掲載媒体を 1~2 部、もしくは URL、同録 (DVD、CD) を「企画・広報担当」宛にお送りください。
 ○ 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

〈お問い合わせ〉

兵庫県立美術館 企画・広報担当 (政岡・早栗・成松)
 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 TEL : 078-262-0905 FAX : 078-262-0903 Mail : press@artm.pref.hyogo.jp